

88

厚真町秋の収穫祭 あつマルシェ2017

こぶしの湯あつま前広場で「あつマルシェ2017」が開催されました。このイベントは、町観光協会が厚真町の農産物や海産物を知ってもらおうと初めて企画したもの。この秋収穫されたばかりの厚真産新米のすくいどりやメークインの袋つめ放題、都市部では普段は近くで見る機会がないトラクターなどの農作業機械の展示など、町外からの来訪者が楽しめる企画が催され、近郊から訪れた多くの家族連れで賑わっていました。

同協会の池川徹会長は「近郊の都市部の方に、直接、足を運んでもらい、産 地厚真を知っていただくことが大事。今後も継続していきたい」と述べていま した。



11 🛭

JAとまこまい広域が 新米50kgを学校給食に提供

JAとまこまい広域の秋永徹代表理事組合長らが役場を訪れ、町へ新米の厚真産さくら米(ななつぼし)50kgを寄贈しました。

秋永代表理事組合長は「愛情を込めて作ったお米なので、おいしく食べていただきたいです」とあいさつ。近藤副町長は「子どもたちのために役立てていきたいと思います」とお礼を述べていました。寄贈されたお米は10月12日に、こども園と小中学校の給食で提供されました。



18E

パイロットや客室乗務員の仕事は? 厚真中でAIRDO航空教室

厚真中学校(渋川賢一校長)で2017年度AIRDO航空教室が行われ、全校生徒65人が参加しました。

教室では、整備士、客室乗務員、パイロットの若手社員3人が仕事の内容についてクイズを交えて講話。また、客室乗務員とパイロットの機内アナウンスの体験や制服、スカートなどの着用体験も行われました。パイロットの機内アナウンスを体験した猪師望夢さん(3年)は「かまないできちんと伝えなければいけないので、大変だと思いました」と話していました。



20 B

中村圭佑さんが軟式野球で全国大会に出場

中村圭佑さん(新町・厚真中3年)が8月26日から2日間、広島県で行われた第29回瀬戸内少年軟式野球広島県交流大会の北海道代表チームとして出場し、宮坂町長と遠藤教育長へ結果の報告に役場を訪れました。

チームは函館市や旭川市など道内各地からのメンバーで構成。メンバーは大会前1カ月に決まり、練習は全体で6日間ほどだったとのこと。短い期間で道内各地を回り、合宿や練習試合をしました。中村くんは「2試合目ではランニングホームランを打てて、すごく嬉しかったです。1回きりのチームでしたが、メンバー全員一丸となって声を出しながら頑張りました」と感想を話していました。





***** 木育っていいね! 森のひろば ~厚真でちょこっと森あそび~

豊沢地区の町環境保全林で、「森のひろば~厚真でちょこっと森あそび~」が開催され、町内外から約240人が来場しました。

この企画は昨年に引き続き2回目の開催。ロープを使った木登りやまき割り、馬そりなどを体験することでき、またカフェブースではお茶や手作りのお菓子などが提供されました。

参加者は小春日和の中、思い思いに森とのふれあいを楽しんでいました。





いよいよダムに水が! 厚幌ダム試験湛水

幌内地区に建設中の厚幌ダムで厚幌ダム建設事業ダム本体工事湛水式が行われ、宮坂町長や施工会社職員など約100人が出席しました。

式典では、安藤ハザマ・岩田地崎・田中特定建設工事共同企業体厚幌ダム作業所の佐々木淳所長が「最盛期は430人で、一人ひとり持てる力を出し尽くして工事関係者一丸となってやってきました」とあいさつ。その後、北海道胆振総合振興局室蘭建設管理部事業室治水課の構材基弘課長やJAとまこまい広域の秋永徹代表理事組合長ら6人が湛水ゲートの降下スイッチを押し、平成31年度の供用開始に向けた試験湛水が開始されました。





英語でまちをプレゼン 厚南中でAPR授業

厚南中学校(細野輝彦校長)の全学年を対象とした厚真町を外国人に英語で紹介する活動(APR)が行われました。

生徒たちは、近隣市町村から来た外国語指導助手(ALT)らに北海道や厚真町についてのプレゼンをしました。手作りのパネルや折り紙などを使い、日本の文化や学校の部活動などを英語で紹介していました。また、言葉だけではなく、アイコンタクトや表情で相手に内容を伝えようと、積極的にコミュニケーションをとっていました。





厚真で働く若者たち 町商工会青年部がインターンシップ

町商工会青年部主催で20~30代を対象とした「*仕事"と *暮らし"がつながるインターンシップ」が行われ、道内外から3人が参加しました。

これは、同部創立50周年を記念した事業で、10月7日から2日間実施。1日目は、参加者が町内5企業に分かれ職業体験をしました。ハマナスクラブ厚真藤井店と有限会社市原精肉店で体験をした川又杏菜さん(北星学園大学3年)は、「1人暮らしの高齢者にとっては、お店の方とのちょっとしたあいさつなどが会話に繋がって独りじゃないと感じると思いました。接客にも地域のつながりを感じました」と話していました。

2日目は、苫小牧市で行われた町商工会と町農協青年部で構成されるあつま新鮮組(荒城一憲会長)主催のあつま特産市にスタッフとして参加し、青年部の活動についても学んでいました。



広報あつま H29.11 Can base Can ba

クラブ・サークル・少年団・同好会

活動紹介



スポーツ吹矢体験会

設 立 平成28年6月

部員数 7~8人

対 象 小学生以上



臼澤 賢一さん

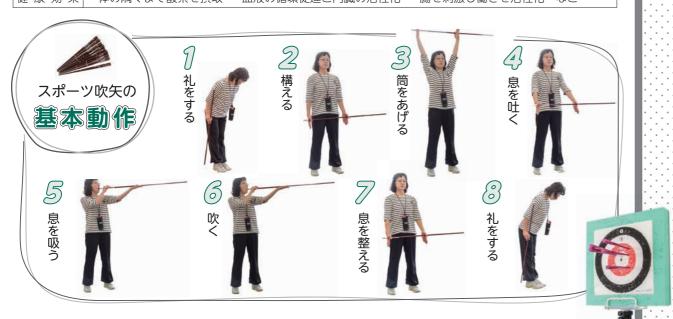
スポーツ吹矢で元気になろう!

スポーツ吹矢は、5~10 m離れた円形の的をめ がけて息を使って矢を放ち、その得点を競うスポー ツです。高い運動能力や腕力はいりません。性別・ 年齢を問わず手軽にゲーム感覚で楽しめます。

ゆっくりとした一連の動作のなかで、腹式呼吸と 胸式呼吸の両方を取り入れた「スポーツ吹矢式呼 吸法」を用いることにより、さまざまな健康効果 も期待されます。

吹矢で健康に!

期待される │・延髄を活性化し体調を改善・胸筋が鍛えられ胸式呼吸を強化 ・腹筋が鍛えられ腹式呼吸を強化 |健 康 効 果|・体の隅々まで酸素を摂取 ・血液の循環促進と内臓の活性化 ・腸を刺激し働きを活性化 など



スポーツ吹矢を体験してみませんか?

メンバーを募集しています!

小学生から高齢者、車いすの方も楽しめ る簡単なスポーツですので、ぜひ一度体験 してみてください。見学もお気軽にどうぞ! 実力認定や競技会もありますので本格的に 取り組みたい方も大歓迎です。



活動スケジュール

日時

金曜または土曜(月2~4回) 金曜…18:00~20:00 土曜…10:00~12:00

場所 総合ケアセンターゆくり



町商工会青年部創立50周年の 節目を祝う

町商工会青年部(金谷泰央部長)の創立50周年記念式典が、厚真中央小学 校で行われ、町内外から約90人が出席しました。

式典では、同部木本幹英副部長が青年部宣言や誓いの言葉を述べた後、金 谷部長が「この50年の思いを胸に刻み、さらに魅力のある町商工会青年部を めざして地域振興発展の先駆者として人と地域を繋ぎ、未来を描いていきたい」 と式辞を述べました。

式典終了後は、会場を総合福祉センターに移し祝賀会が行われ、出席者は おいしい食事を囲みながら、50周年の節目を盛大に祝いました。



町の教育に役立てて 加賀谷さんが町へ1.000万円を寄附

今年の1月16日に77歳でご逝去された故・加賀谷明美さんのご遺族が役 場を訪れ、加賀谷さんの遺志により、育英資金に役立ててと町に1.000万円 を寄附しました。

宮坂町長は「進学を志す子どもたちを支援するため、有効に活用させてい ただきます」とお礼を述べていました。



佐藤秋夫さん(上厚真)が 法務大臣表彰を受賞

保護司の佐藤秋夫さん(上厚真・76歳)が、法務大臣表彰を受賞し、札幌 市で表彰状の伝達を受けました。佐藤さんは平成10年に保護司となり、現在 まで19年間、犯罪や非行など罪を犯した人たちの改善更生や犯罪予防に尽力 されました。

表彰を受け佐藤さんは、「対象ケースの方に心を開いてもらうまでが大変 でした。関係皆さんのご協力のおかげで今回受賞できたと思います」と話し ていました。



町教育委員の森本早苗さん(新町)へ感謝状

今年の10月17日をもって町教育委員を退任された森本早苗さん(新町・ 64歳) に、役場で宮坂町長から感謝状が贈呈されました。

森本さんは平成21年10月に町教育委員に就任し、2期8年にわたり教育 委員として教育行政や文化スポーツの振興に尽力されました。

森本さんは、「周りの皆さんのおかげで、2期務めることができました」と 感謝を述べていました。



11 広報あつま 広報あつま H29.11 2017.11